



おかよう

発行元：岡山県児童養護施設等協議会「職員関連事業部会」

会長あいさつ



会長：松田浩一郎

今年、4月に新元号が発表される節年です。社会的養護の世界においても、今後の方向性を定める大きな節年になるかもしれません。平成29年8月に出されました、「新しい社会的養育ビジョン」の当初の衝撃も時間の経過とともに落ち着きを見せてきている昨今、ビジョンに基づいた、社会的養育推進計画が各県において検討されています。2019年度末までにまとめるべく、岡山県においても、施設、里親、児童相談所、市町村それぞれを中心とした実務者チーム、更に各チームの代表者からなる代表者会議と検討会が歩を進めています。施設においては、小規模かつ地域分散化、高機能化及び多機能化・機能転換が謳われています。今後10年を目途に段階的に取り組まれて行くこととなります。私たちの出来ること出来ないことを整理しながら、今後の方向性を決めて行くこととなりますが、忘れてはならないのは、どの様な形態、取り組みであれ、子どもたちが中心であるということです。子どもたちを中心に捉えて取り組んで行けば、上述した方法方向性に限らず、新たなものが生み出されることもあり得ます。今こそ全員の力を結集して、子どもたちの幸せ実現に向けて邁進して参りましょう。

新任施設長紹介



津島児童学院
学院長 濱口 喜直

今年度より児童心理治療施設「津島児童学院」の施設長となりました濱口と申します。これまでは主に知的障害のある方の支援に30年近く携わってきました。

社会的養育には興味・関心はありましたが、全く専門の異なる想定外の人事で学びや悩みの毎日を送っています。もちろん岡養協のことも初めて知りました。本来なら児童心理治療施設の専門性から児童養護施設等との連携を模索する必要がありますが、まずは、児童心理治療の「いろは」を学び施設長として何ができるか考えたいと思います。残り少なくなった職業人生ですがいくらか貢献できればと思います。



「笑顔を大切に」
南野育成園
園長 三宅 嗣朗

久しぶりに児童福祉の現場に帰ってまいりました。改めましてよろしくお願ひします。

さて、大学での3年間は、自分自身を振り返ることのできる貴重な時間でもあり、学生諸君と一緒にゼミ活動を行うことで、様々な経験をすることもできました。学長よりは、「教育とは、学ぶ者の心に灯をともしることである」と教えられましたが、福祉の世界においても子どもたちが生きる力を身に着けることが一番大切であると思います。しかし、目の前にいる子どもたちは選択の余地もなく、与えられる環境を受け続けて来ています。このことから、子どもたちが様々な経験を積み重ねていくことで、一人ひとりが主体的に自分の人生に向き合い、笑顔で元気に生活していけるように一緒に歩んでいきたいと思っています。

各部会 今年度事業報告

● 制度政策部会 ●

当部会においては、今年度は恒例の県議会議員との懇談、県への予算陳情・要望に加え、社会的養育推進計画に関して、岡山県更には加藤厚生労働大臣との面談、県による措置費等の説明会、倉敷児童相談所長浅田氏講演による施設長研修会と、盛りだくさんの取り組みとなりました。特筆すべきことは、施設長研修会です。浅田氏の「児童相談所が施設に期待すること」と題しての講演内容は、今後の児童養護のあり方を問いかける内容であり、とても有意義な会となりました。そして、受講したことに満足するのではなく、私たちが、子どもたちのために出来ることを、模索しながら取り組んでいくことこそが最も大切なことだと思います。

● 心理部会 ●

平成21年度から活動を始めて10年になります。心理職の配置時期等にもよりますが、これまでに各施設を2～3回ずつ回り、それぞれの施設の温かい雰囲気に癒されながら進めています。

さて、心理職の国家資格として公認心理師法が平成29年に施行されました。その中で「公認心理師は、その業務を行うに当たっては、その担当する者に対し、保健医療、福祉、教育等が密接な連携の下で総合的かつ適切に提供されるよう、これらを提供する者その他の関係者等との連携を保たなければならない。（法第42条第1項）」と定められています。

施設での心理支援はこれまでも他職種との連携が不可欠とされてきましたが、子どもや家族を支援する上で多職種連携が必要なことは言うまでもありません。心理部会では、多職種の一員である心理職を支えられるような活動を目指していきたいです。

● 食育部会 ●

平成30年7月、倉敷市真備町を襲った洪水は大災害となりました。

地震、台風、洪水などの災害はいつどこにやってくるかわかりません。

私たち食育部会のメンバーは、食に携わる者としてライフラインが寸断され限られた環境や道具で災害食を提供することを要求されます。

私たちは来たるべき災害に対して何をどう備えるべきか？避難時に子どもたちの生命を守り、安全で快適な避難生活を送るためには「いかに健康に生き延びるか」ということだと思います。

被災時の食事の問題は、いかに健全な食生活が送れるか。栄養面に配慮があるおいしい日常の食事と同じレベルの食事を提供すること。そうすれば、健康でストレスのない生活が送れると思います。

備蓄食の重要性を再確認し、心が落ち着くいつもの食事ができるよう心がけて「食」の観点から皆さんに発信していきたいと思っています。

● 里親支援専門相談員部会 ●

「新しい社会的養育ビジョン」によって、日本の社会的養護は大きな変化を求められています。児童養護施設は地域分散化と小規模化を、施設高機能化と同時に求められ、その中でのフォスティング機関の在り方を考えていかなければなりません。

実親の代わりに子どもを育てるということは、ただでさえ大変な事ですし、中には特別な支援を必要とする子どももっています。里親も施設も、今まで以上の努力を必要とされてきます。しかし、これを機会として、子どもたちの最善の居場所づくり、愛着を大切に生活する生活を目標とし、未来をご一緒に考えていきたいと思っています。

児童関連事業部会

中高生交流事業～in チロリン村キャンプグラウンド

第13回中高生対象交流事業を、平成30年8月1日～2日にかけて、吉備中央町のチロリン村キャンプグラウンドに行いました。

1日目、まずはスタンプラリーを行いました。スタンプを押してまわるだけでなく、渡された写真の場所を探しながら得点を稼ぎ、その順位でその後のカレーの材料が選べるとあって、スタッフの予想以上に、皆真剣に、協力し合って取り組む姿が見られました。カレー作りでは、ご飯が焦げたり、スープカレーのようになる班もありましたが、班ごとに違う材料で作ったカレーを味見し合いながら、自らの手で作ったカレーを美味しく頂くことが出来ました。夜のキャンプファイヤーでは、様々なレクリエーションを行い、たくさんの笑顔が見られました。2日目の朝食、牛乳パックで作るホットサンドでは、いつもとは違った調理方法に驚きながら、楽しく調理し、食べる事ができました。

1泊2日のキャンプを通し、大自然を体で感じながら、様々な活動を通して協力したり、交流を深めることができ、楽しかった、来年も参加したい、といった意見が多数寄せられました。今後も子供たちの経験を補い、笑顔のあふれる活動に取り組んでいきたいと思っています。ご協力頂いたスタッフ、職員の皆様、ありがとうございました。



第58回岡山県児童福祉施設卓球大会

平成30年10月13日、岡山県立成徳学校体育館をお借りし、「第58回岡山県児童福祉施設卓球大会」を開催いたしました。

成績	施設名	成績	施設名
優勝	玉島学園	優勝	南野育成園
準優勝	玉島学園	準優勝	南野育成園
第3位	悲眼院	第3位	南野育成園
敢闘賞	悲眼院	敢闘賞	若松園
優勝	南野育成園	優勝	新天地育児院
準優勝	みのり園	準優勝	岡山聖園子供の家
第3位	悲眼院	第3位	岡山聖園子供の家
第3位	立正青葉学園	第3位	若松園
敢闘賞	悲眼院	敢闘賞	津島児童学院
優勝	津島児童学院		
準優勝	若松園		
第3位	津島児童学院		
第3位	南野育成園		
敢闘賞	新天地育児院		

小学生から高校生までの児童54名が集い、白熱した試合を繰り広げました。毎年参加している児童も多数見られ、他施設でありながらも、顔なじみの児童同士練習したり、何気ない話で盛り上がったりと、試合以外でも交流を深める様子が多く見られました。試合に勝利し喜ぶ児童、惜しくも敗れ来年リベンジを誓う児童など、様々な表情から児童の日々の成長を感じられる事業となりました。

来年度は、児童も職員も皆が楽しみ、共に成長していける事業となるよう、さらに盛り上がる企画・運営をしたいと考えています。



第13回児童養護施設交流事業 in 岡山ドーム

平成30年11月18日（日）、県内児童養護施設の小学生を対象とした運動会を岡山ドームにて開催いたしました。今年も各施設から、小学生と幼稚園児合わせて146名の児童が集まり、チームに分かれて午前の部と午後の部で熱戦を繰り広げました。

今年の準備体操は鹿児島弁で行われ、一風変わった準備体操は緊張が和らぐということで恒例になりつつあります。競技ではチーム対抗リレーの予選から始まり、午前中は玉入れ・しっぽ取り・ドッチボールと続き、選手はもちろん、応援する側も一生懸命声を出し、とても盛り上がりました。午後からの競技も勝つために各チームが作戦を練り、全員が協力して競技に挑んでいる姿が印象的でした。

運営に携わってくださりました皆様、ご協力ありがとうございました。



職員関連事業部会

新任研修及びフォローアップ研修

「平成30年度 岡山児童養護施設等協議会 新任職員研修会」が6月21日（木）きらめきプラザにて開催され岡山県児童養護施設等協議会に加盟する8施設14名の新任職員が参加されました。

午前中は、南野育成園 三宅施設長を講師にお招きし「よりよき支援者になるために」と題し、講義をして頂きました。日常の幸福感と自己肯定感の関係性、社会的養護についてや、子どもの権利を改めて考える良い機会となりました。

午後からは、若松園 津嶋施設長から「新任職員の皆さんに知っておいて欲しいこと～子どもの安心・安全を守るために～」と題した講義をしていただき、その後グループ討議を行いました。職に就いてまだそれほど時間がたっていない時期に、それぞれが自分を見つめなおすいい機会になりました。



そして、今年も新任職員フォローアップ研修会を11月21日（金）に開催し、倉敷児童相談所 浅田浩司所長の講義を聞き、その後、先輩職員の話聞いて、これまでの振り返りや、今後この職を続けていくにあたり必要な気持ちを確認する事ができました。この研修で学んだ事をそれぞれの職場に持って帰り、この先の子どもの幸せに繋げていきたいと思う会でした。



職員関連事業部会

▼オレンジリボンフォーラム▼

平成30年11月7日（水）、岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会主催による「第12回オレンジリボンフォーラム」が開催され、岡養協職員関連事業部会から5名のスタッフが運営協力させていただきました。例年、別会場にて開催してきていたフォーラムですが、今回初めてイオンモール岡山を会場とし、岡山市長も参加しての児童虐待防止推進月間記念式典や、子育て応援スペシャルライブ、大きなダンボール迷路などの盛りだくさんのキッズプレイコーナーを1日通して実施しました。

大きなショッピングモールを会場としたことで、多くの買い物客や子育て家族、若者に対してひろく児童虐待防止の啓発ができました。



▼中国地区児童養護施設リーダー職員等研修会▼

児童養護施設の小規模化・地域分散化が進む中、各施設におけるチームケアの中核を担うチームリーダーやグループリーダーの養成と専門性の向上が喫緊の課題となっていることから、平成30年12月5日（水）～6日（木）の2日間に渡り「中国地区児童養護施設リーダー職員等研修会」を岡山県にて実施することとし、岡養協職員関連事業部会が中心となり企画運営を行いました。

今回の研修会については、例年持ち回りで実施している「兵庫県・岡山県児童養護施設合同研修会」も兼ねることとなり、中国地区5県に兵庫県を加えた6県から約80名の参加がありました。

本研修では鳥取こども学園から4名の講師にお越しいただき、「チームリーダーとしての職場での問題解決」「職員へのスーパーバイズ」「新任職員等のメンタルヘルス」等の内容を盛り込み、より高度な専門的知識・スキルをもったリーダー職員の育成に資するものとなるよう研修内容を構築しました。

初日の交流会にも多数の参加があり、日常的に各施設でリーダー的役割を担っている参加者同士の活発な意見交換や和やかな交流の様子が見られました。



知る、学ぶ、憧れる。
夢のきっかけを、子どもたちへ。

シゴトの図鑑 PROJECT

平成30年4月始動!!子どもたちの心の中に、将来の夢を持ってもらうきっかけの図鑑と一緒に作り上げるプロジェクトです。多くのシゴトを見て、体験して、感じることで、今まで考えもしなかった夢に出会えるかもしれません。

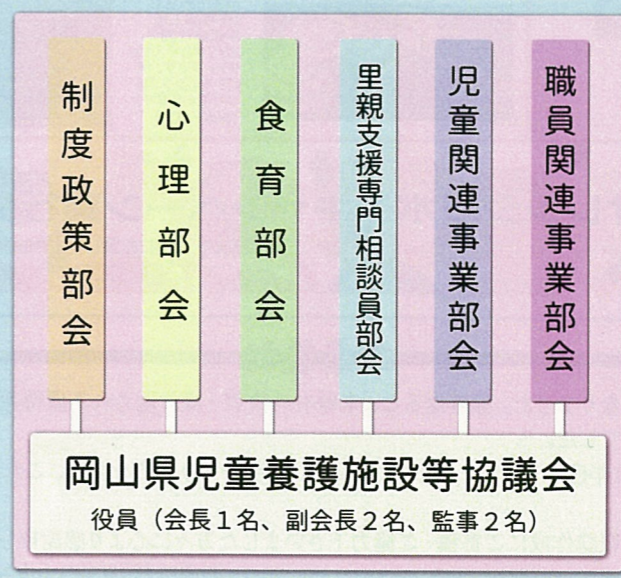
プロジェクトメンバーは、弁護士さん、児相職員の有志、企業の方々です。

今年度は趣旨に賛同して下さった企業さんのご協力により、5回のPROJECTが実施されました。

回	内 容	児童数	協 力 企 業
①	いちご狩り	10名	(株)ジョイワン
②	お仕事体験	10名	福富建設
③	デザインでhappyをつくる!	7名	(株)トータルデザインセンター CAPITAL LUCK
④	OHKミルン見学	18名	(株)岡山放送
⑤	デザインでhappyをつくる! <第2回>	9名	(株)トータルデザインセンター CAPITAL LUCK



平成30年度 岡山県児童養護施設等協議会組織図



オレンジリボンキャンペーン 啓発グッズのご案内

キャップボトル (700円) 容量 500ml

人気のキャップボトルが新登場！
涼しげなクリアボトルに、シンプルなデザイン
マイボトルとして、お茶やフルーツティーなどを
入れるもよし、文房具、食品保存などとして
も活用できます♪



オレンジリボンキャンペーンは、子ども虐待防止を願う全国的な市民運動です。この「オレンジリボン」には、子ども虐待の現状を広く知っていただき、子ども虐待をなくしていこう、子どもを救うため、ひとりひとりにできることを考え、行動しよう、そして虐待を受けた子どもたちが幸福になれるように、との気持ちがおこめられています。
啓発グッズを使用することで、オレンジリボンの輪を広げてください。
ご協力をお願いいたします。

※オレンジリボンキャンペーンについて
詳しくはこちら →

2018夏



<h3>キャンバストート (1,000円)</h3>  <p>A4資料がたっぷり入り、肩にかけることができます。荷物もたっぷり入るので、ちょっとしたお出かけにも便利！自立する幅広底マチ。丈夫なキャンバス地のトートバッグです。 横43cm×縦38cm マチ16cm</p>	<h3>マルチトートバッグ (700円)</h3>  <p>黒色のナイロン地。両サイドに、ペットボトルや折り畳み傘が入るポケット、バッグ内にミニポケットがついています。A4サイズの資料が縦にたっぷり入り、肩にかけられます。 横26cm×縦34cm マチ12cm</p>	<h3>デニムミニバッグ (500円)</h3>  <p>お弁当箱を入れたり、ちょっとしたお出かけに大活躍♪デニム地のミニバッグです。 ※マルチトートバッグの半分くらいの大きさです。 横30cm×縦20cm マチ12cm</p>
<h3>黒Tシャツ (1,500円)</h3>  <p>綿100%、普段着にもなるシンプルな黒Tシャツ。胸、左肩、左腰にプリントが入っています。 男女兼用サイズ S/M/L/2L/3L</p>	<h3>ポロシャツ (2,000円)</h3>  <p>伸びがよく、さらっと着心地のいい速乾性のポロシャツ。色はネイビー、左胸にポケットあり。左腕、右腰にオレンジリボンマーク。男女兼用サイズ S/M/L/2L/3L</p>	<h3>ジップアップパーカー (3,000円)</h3>  <p>性別年齢問わず、どなたでも着やすいジップアップパーカー。色はネイビー。背面右腰部分に、オレンジリボンのマークが入っています。 男女兼用サイズ S/M/L/2L/3L</p>
<h3>車体用マグネット (500円)</h3>  <p>車に貼れるオレンジリボンマークです。マグネットシートなので取り外しも可能。 14cm×16cm</p>	<h3>デニムポーチ (500円)</h3>  <p>収納力たっぷり。マチ付のデニム地のポーチ！ペンケースや化粧ポーチ、小物入れとしてもお使いいただけます。 横24cm×縦10cm マチ5cm</p>	
<h3>マスキングテープ (300円)</h3>  <p>mtで有名なカモ井加工紙株式会社製のオリジナルマスキングテープです。使いやすいシンプルで可愛いデザイン。 15mm×10m</p>		<h3>缶バッジ (各100円)</h3>  <p>デザインは5種類。複数つけてもかわいい缶バッジです。白には、岡山市のキャラクター「ミコロ」と「ハコロ」もデザインされています。黄/オレンジ/白、黒/ネイビー</p>

岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会

※ご協力いただいたお金は、子ども虐待防止活動に使わせていただきます。

編集後記

今号は平成最後の『おかよう』となりました。振り返ると、未曾有の災害・繰り返される虐待死報道など、これまでと今後の在り方を個々人が大きく問われる年でした。

新元号の発表と共に幕を開ける次年度は、今日までの学びと新しい時代への希望を胸に、これまで以上に日々を丁寧に積み重ねて参りたいと思います。

最後に、ご多忙中にも関わらず広報誌作成にご寄稿・ご協力下さいました方々に心より感謝申し上げます。編集後記といたします。

平成31年3月31日「広報誌 おかよう」編集スタッフ一同